

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

『リそな』

HUMAN COMMUNICATION

真のリテールバンクの確立をめざして



RESONA

平成21年3月7日

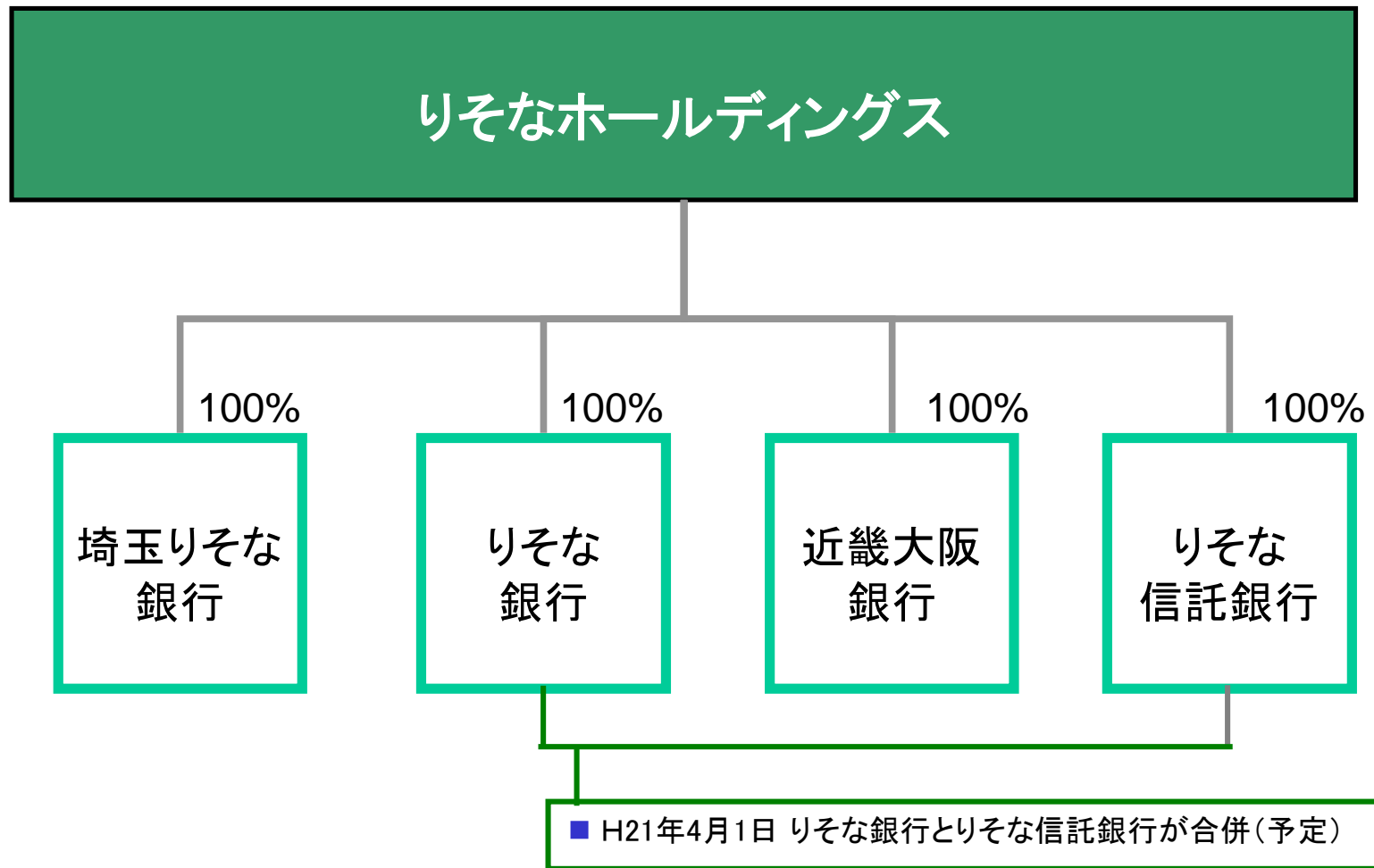


リそなホールディングス

RESONA

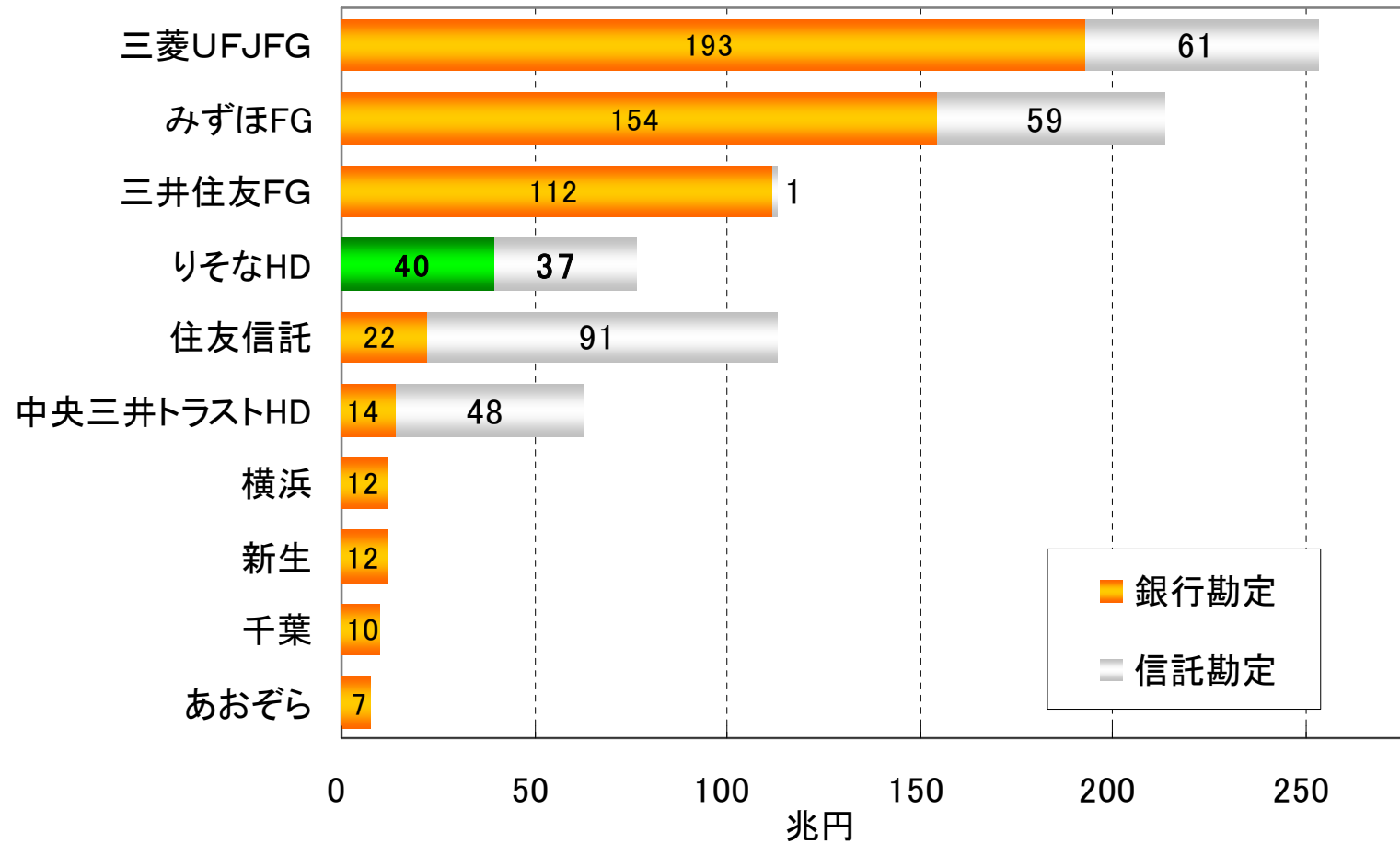
りそなグループの概況 ①

グループの事業系統図



りそなグループの概況 ②

総資産の比較 *

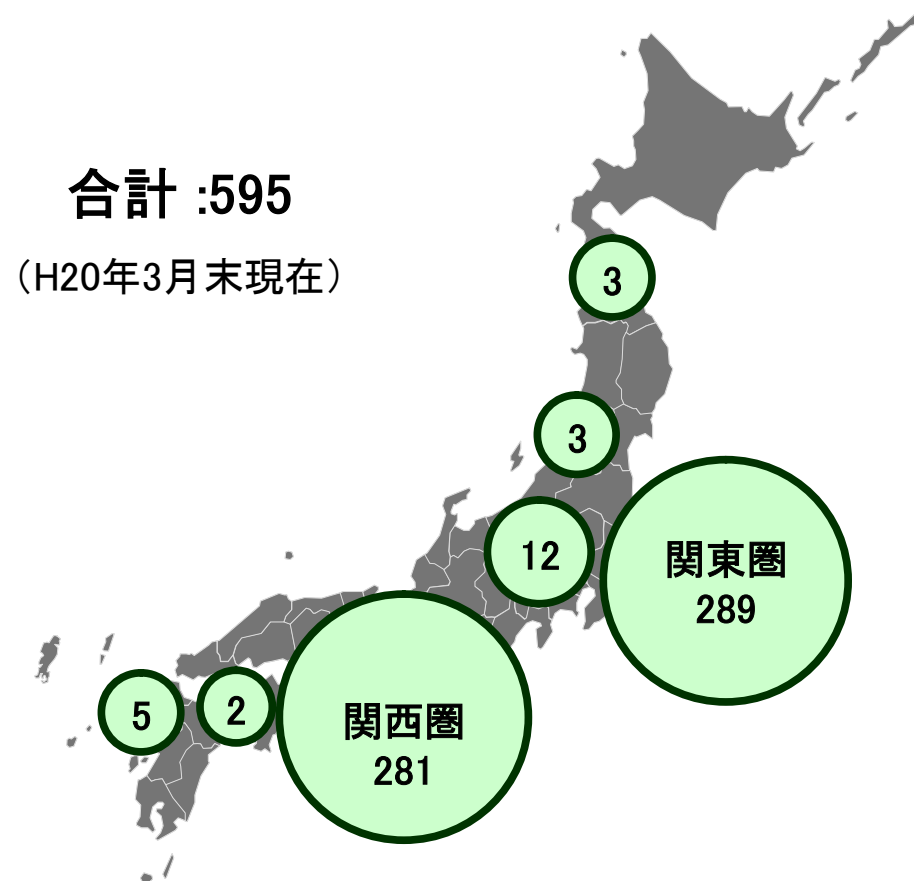


* 2008年3月末現在、主要銀行抜粋

りそなグループの概況 ③

グループのフランチャイズバリュー

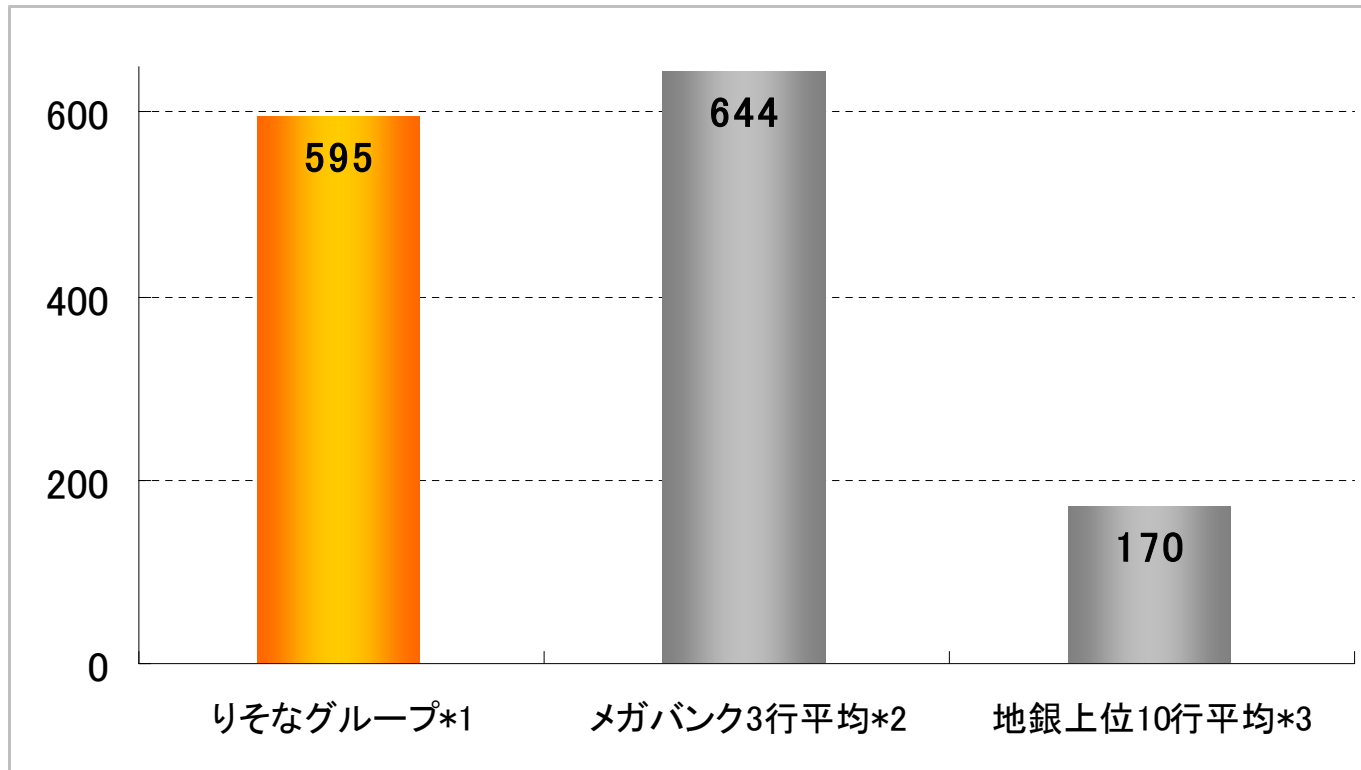
- 人口や経済・産業が高度に集積する首都圏、関西圏において強固なプレゼンス



りそなグループの概況 ④

メガバンクに匹敵する国内店舗網

〈国内有人店舗数〉



*1 グループ4銀行合算(りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、りそな信託銀行), H20年3月末現在

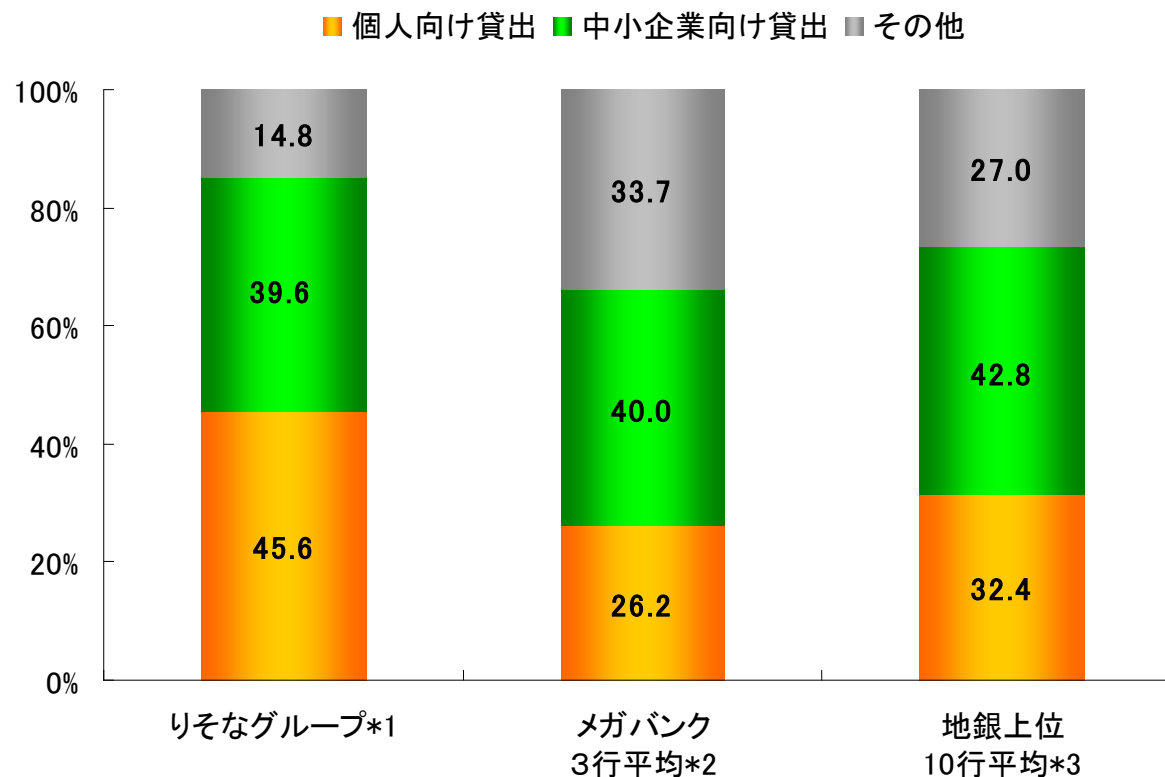
*2 MUFG(三菱東京UFJ+三菱UFJ信託)、みずほFG(みずほ+みずほCB)、SMFG(SMBCのみ), H20年8月調査時点

*3 単体総資産で上位10地銀(横浜、千葉、静岡、福岡、常陽、西日本シティ、京都、広島、八十二、群馬), H20年8月調査時点

中小企業向け貸出及びリテールバンキング業務への集中

貸出金ポートフォリオの比較(国内業務、H20年3月末)

- 中小企業向け及び個人向けが全体の8割以上を占める貸出金ポートフォリオ構成



*1 グループ4銀行合算(りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、りそな信託銀行)

*2 MUFG(三菱東京UFJ+三菱UFJ信託)、みずほFG(みずほ+みずほCB)、SMFG(SMBCのみ)

*3 単体総資産で上位10地銀(横浜、千葉、静岡、福岡、常陽、西日本シティ、京都、広島、八十二、群馬)

リテールバンキングビジネスにおける競争優位性 ①

厚い顧客基盤の下で競争優位性を更に強化

個人稼動口座
約 1,300万先

中小企業貸出先数
約 9万先

プロダクトの強化

- 系列に属さない強み
⇒ 業界トップ企業とのアライアンス(提携)戦略
- 商業銀行ながら信託機能を持つ強み
- マーケティング力に強み
⇒ お客様のニーズに合致した商品の提供

サービス改革

- 待ち時間ゼロ運動
- 窓口の17時まで営業と土曜営業店舗の拡大
- リそなグループATMご利用手数料ゼロ円

リテールバンキングビジネスにおける競争優位性 ②

厚い顧客基盤の下で競争優位性を更に強化

個人稼動口座
約 1,300万先

中小企業貸出先数
約 9万先

革新的な
販売チャネル

- 次世代型店舗を展開
- インターネットバンキングの機能強化
- コンビニATMを通じた利便性の拡充(約28,000ヶ所)

ローコストオペレーション
の徹底

- ビジネスプロセスの抜本的な見直し
 - ⇒ 印鑑・通帳取引のゼロ化を志向
 - ⇒ 事務部門からセールス部門へ人員シフト
- ビジネスプロセスの標準化

次世代型店舗のフロアレイアウト



サービス改革の成果

日経金融機関ランキングについて

➤【顧客満足度 総合ランキング】

H17年度 25位

⇒ H18年度 16位

⇒ H20年度 5位

➤【顧客満足度 エリア別ランキング】

＜近畿圏＞

H18年度 7位

⇒ H20年度 1位

＜首都圏＞

H18年度 23位

⇒ H20年度 4位

【H20年度 顧客満足度 上位10社】

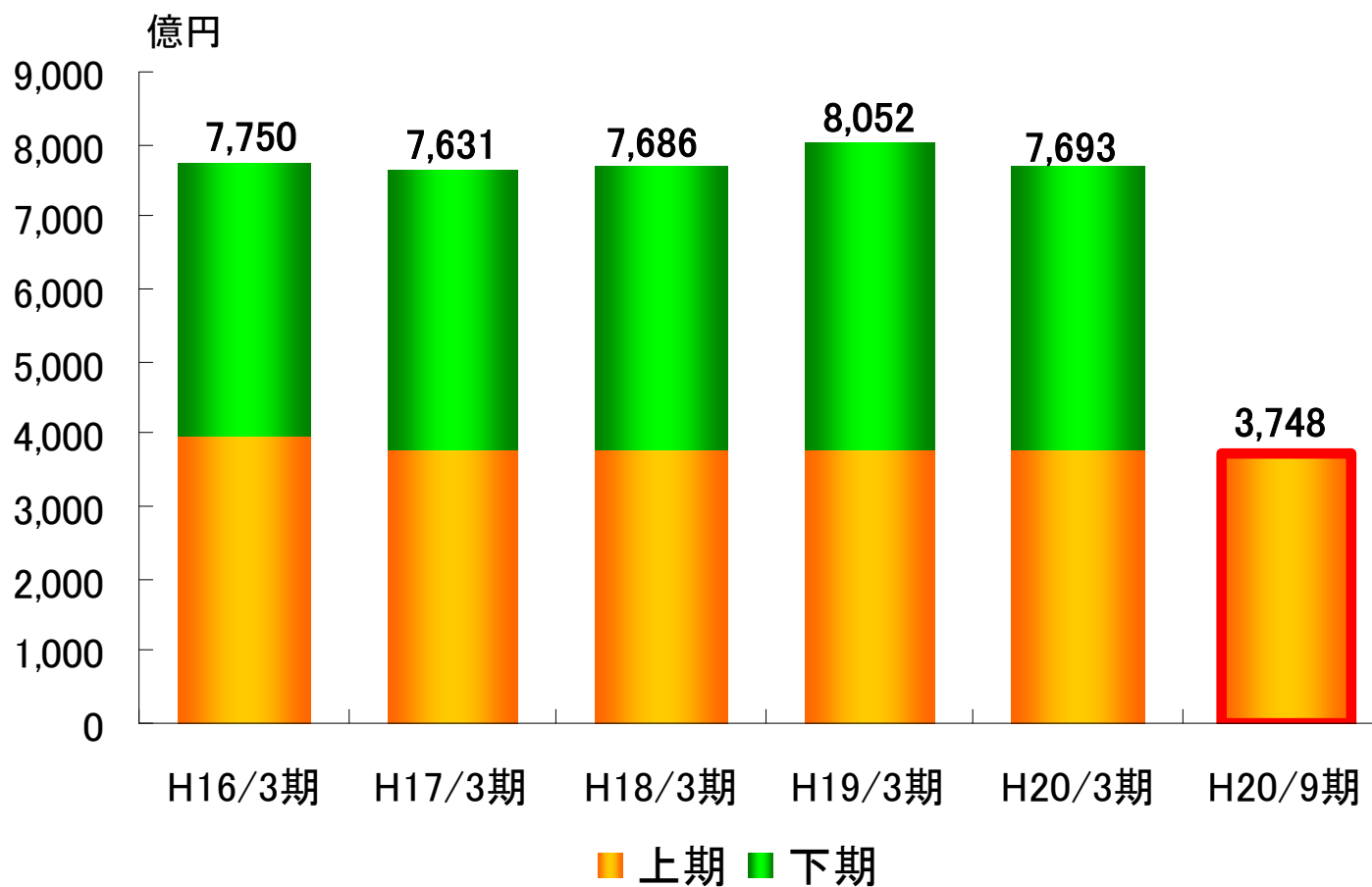
順位 (前回)	金融機関名
1 (1)	ソニー銀行
2 (3)	セブン銀行
3 (2)	新生銀行
4 (4)	大垣共立銀行
5 (8)	りそな銀行
6 (-)	住信SBIネット銀行
7 (-)	京都信用金庫
8 (-)	イオン銀行
9 (9)	三井住友銀行
9 (6)	三菱東京UFJ銀行
9 (11)	十六銀行

【H20.12.14 日経ヴェリタス及び過去の日経金融新聞より】

持続的黒字経営への体質転換①

連結粗利益

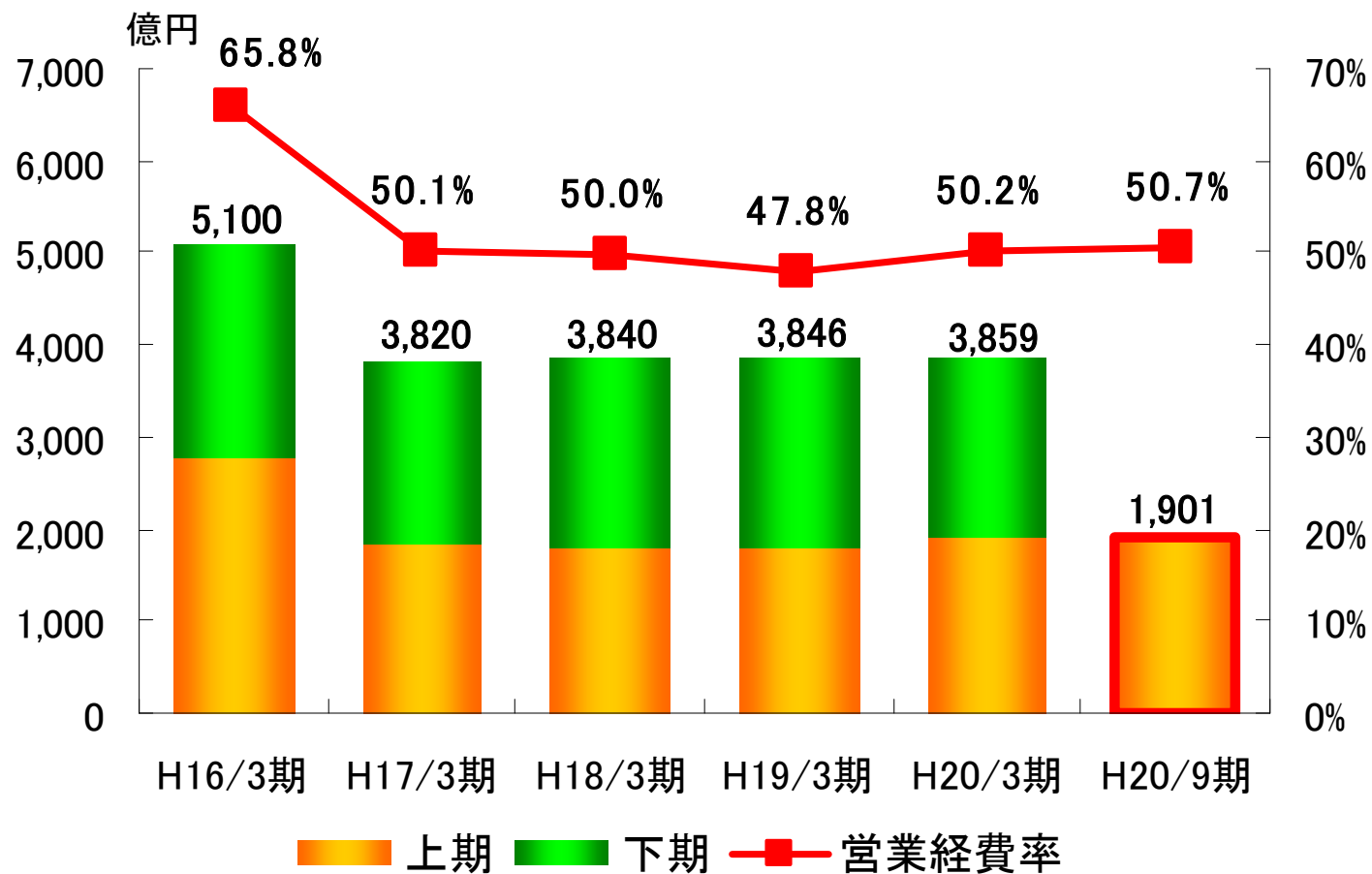
- 厳しいビジネス環境ながら本業収益は底堅く推移



持続的黒字経営への体質転換②

営業経費

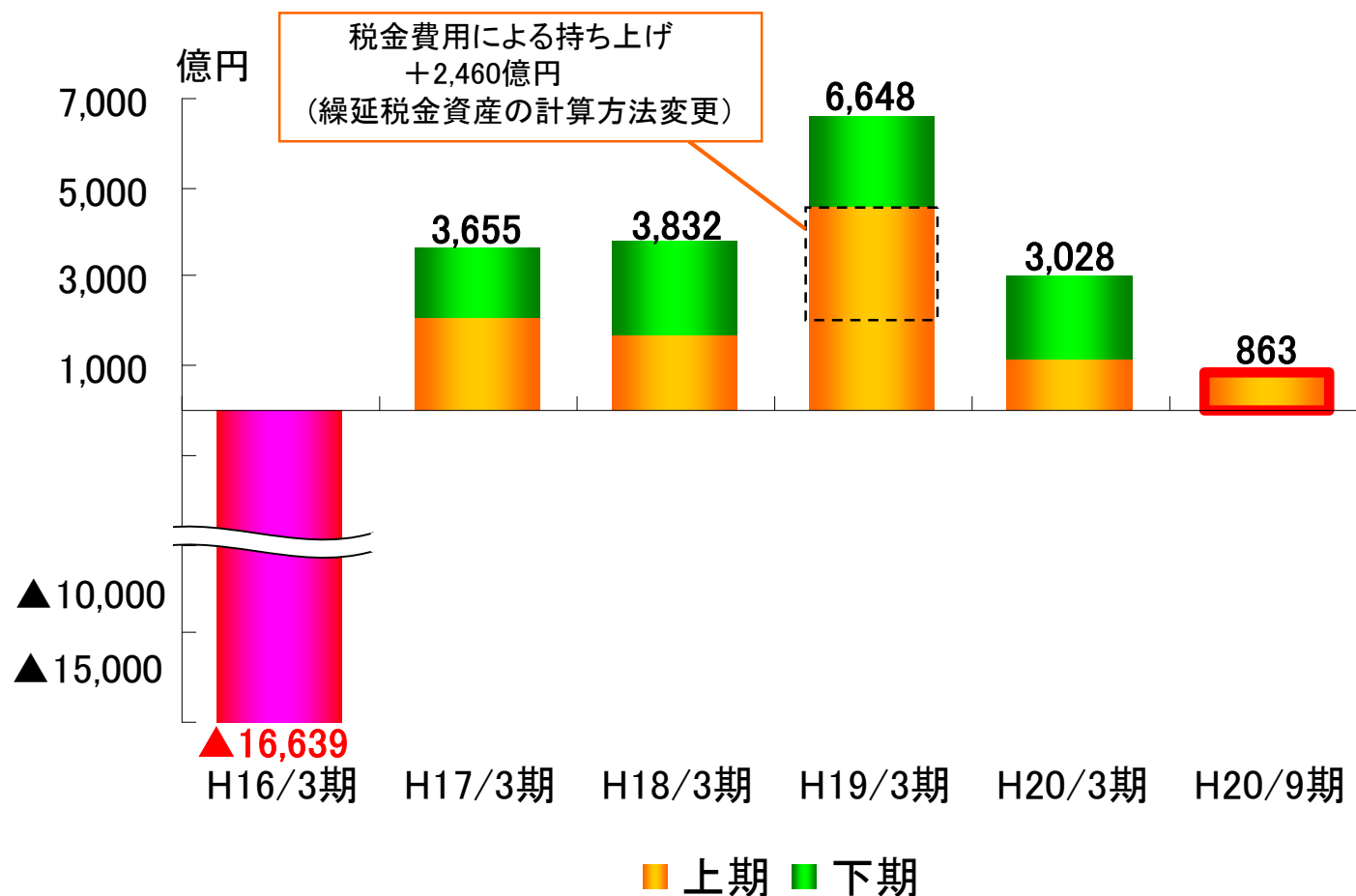
- 営業経費率は50%程度でコントロール



持続的黒字経営への体質転換③

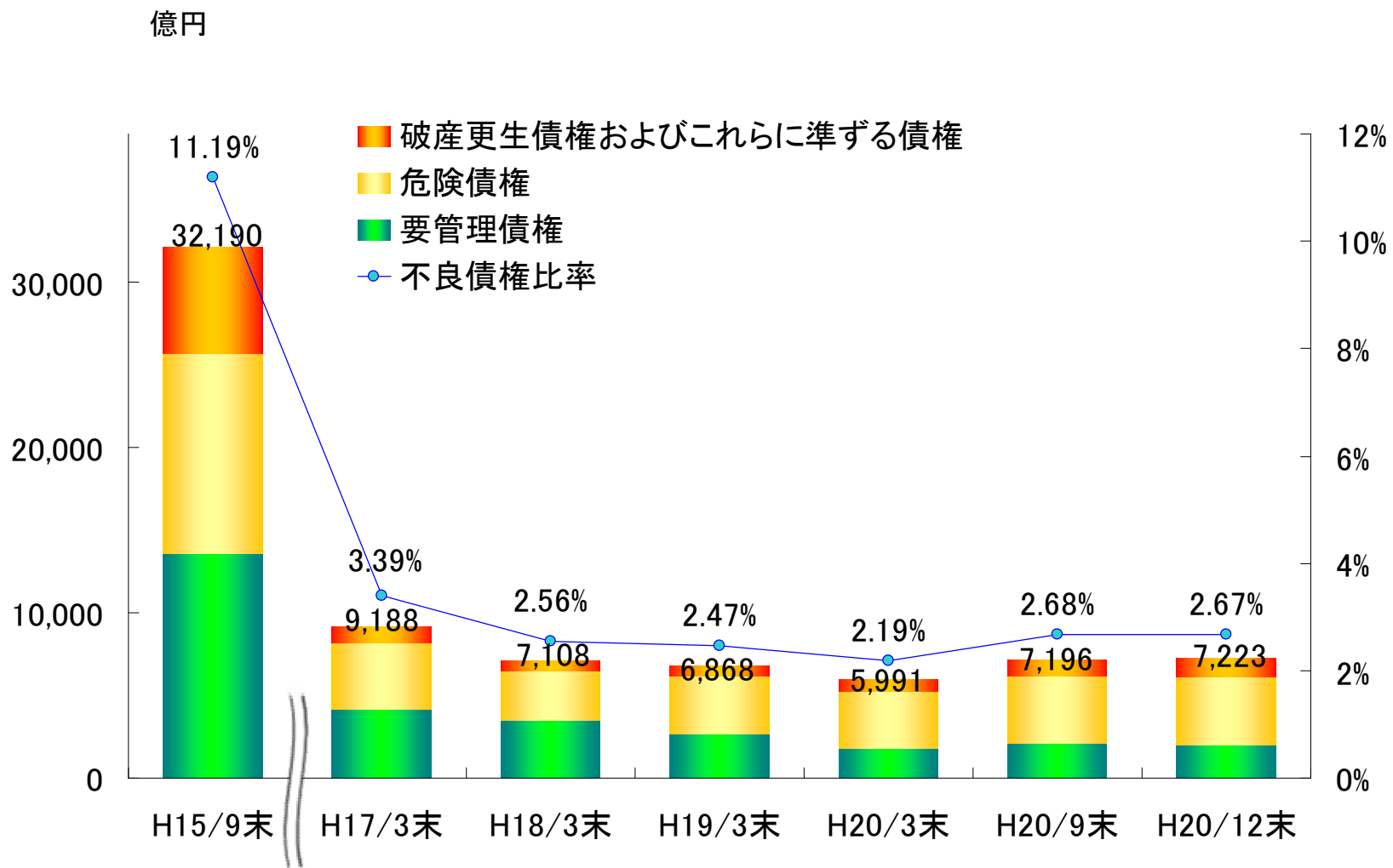
当期純利益

■ 安定的な黒字経営の定着



持続的黒字経営への体質転換④

不良債権残高・不良債権比率の推移(グループ銀行合算)



現下の金融市場の混乱の影響を受けにくい銀行

安定した預金によりファイナンスされた健全な資産ポートフォリオ

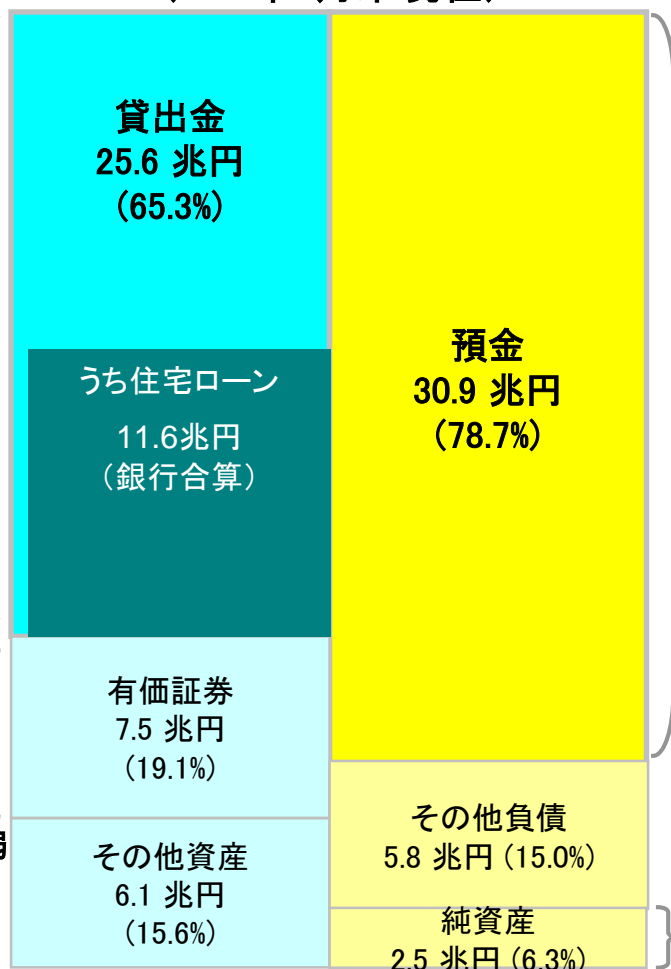
りそなホールディングス 連結バランスシート (H20年9月末現在)

【健全な貸出金ポートフォリオ】

- 分散が効いた貸出金ポートフォリオ
 - 住宅ローン比率: 45%
 - 法人貸出ポートフォリオも9万先以上の中堅・中小企業に分散
- ネット不良債権比率: 0.3%

【保守的に管理された 有価証券ポートフォリオ】

- 大半は日本国債
- 保有株式に係るリスクは限定的
 - 12月末現在の保有株式 3,600億円弱 (5年間で1兆円弱圧縮)
 - 損益分岐日経平均株価: 約7,500円
- 米国サブプライム関連資産の保有なし



【安定した調達構造】

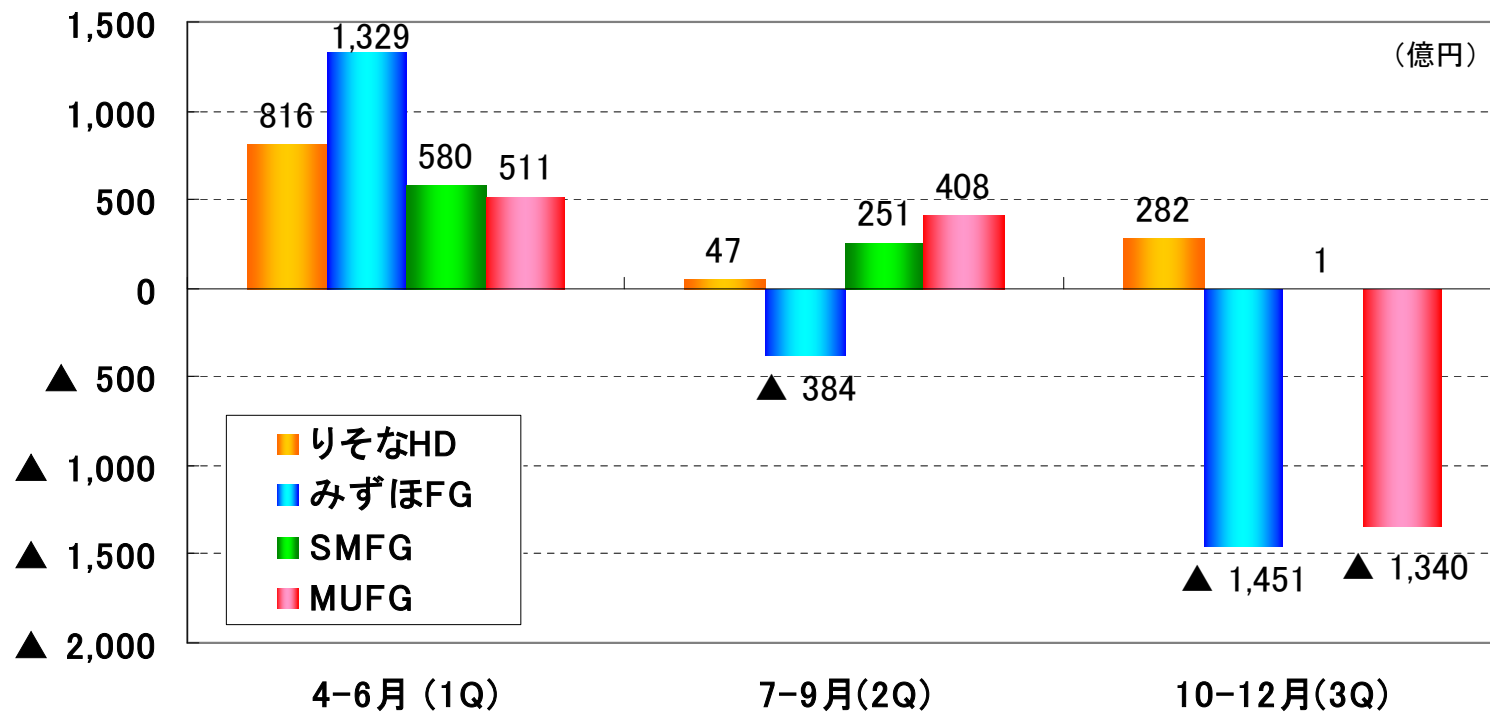
- 強固なリテール預金基盤
 - 1,300万のリテール預金口座
 - 預金のうち約70%が個人預金
- 極めて低いインターバンク調達や証券化への依存度

【高い規制資本の充実度】

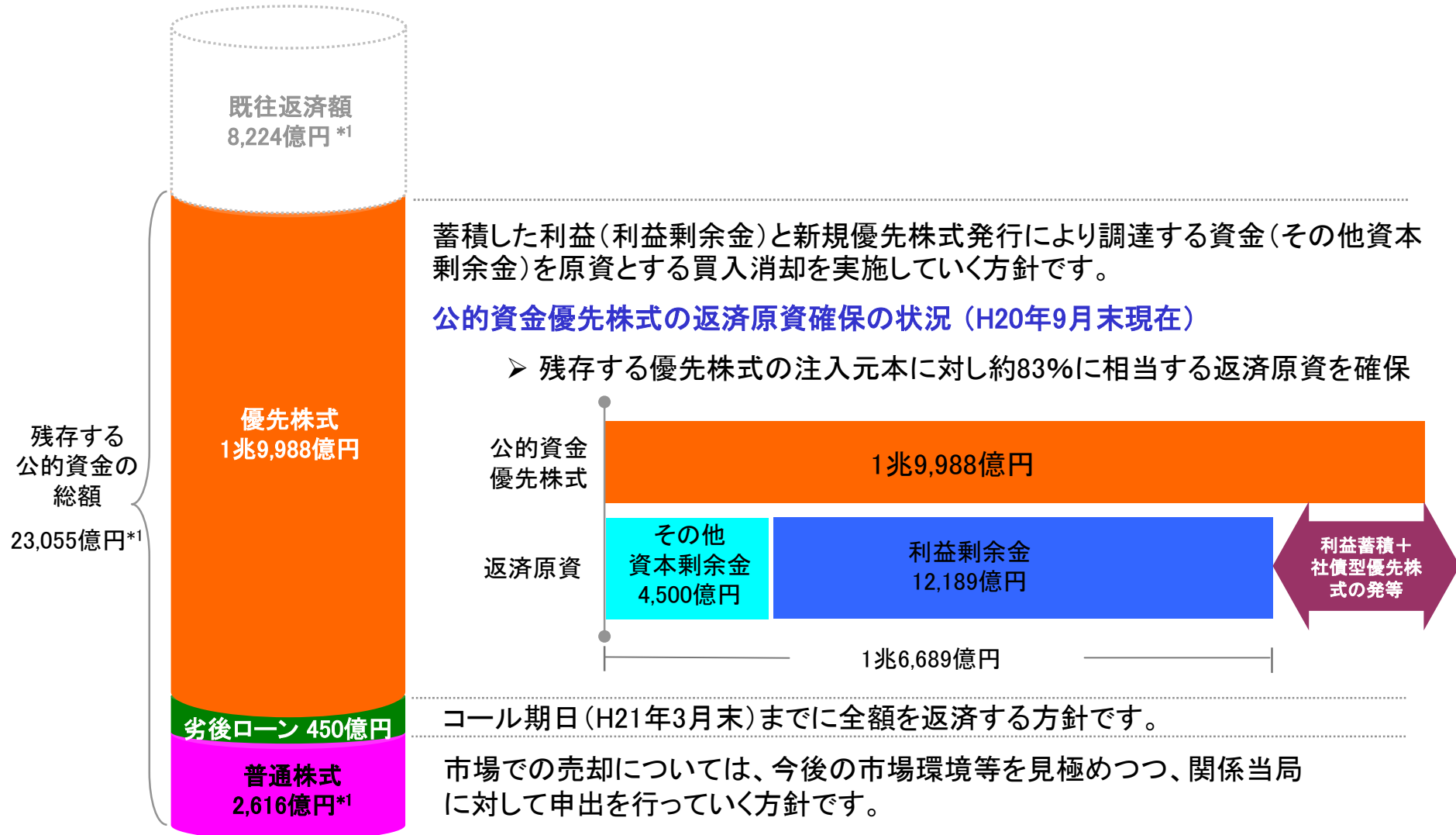
- 規制資本比率: 14.84%
- Tier I 比率: 10.92%

四半期業績の推移比較 (H20年度 1~3Q)

四半期毎の連結ベース当期純損益の推移比較



残存する公的資金の明細と返済アプローチ



*1. 注入額元本ベース (平成20年12月末現在)

本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。